

群馬の自然環境		講義	非常勤講師 新井 健司	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200120	

1. 授業のねらい・概要

群馬県にある本学で4年間を過ごす学生諸君を対象に、周辺の自然環境について学ぶ機会を提供することが本科目の目的である。群馬県はおよそ3分の2を山地・丘陵が占める内陸県であり、2,000m級の山脈や火山が聳え、山間を縫う利根川水系の河川が変化に富む美しい景観をつくっている。有名な尾瀬や各地の温泉に多くの人々が訪れるが、一方‘からっ風’や雷など、厳しい気象現象が多発する土地柄でもある。

授業では、群馬県の自然環境を総合的に紹介しながら、人間の活動を支え、時には脅威となる自然の実態を理解してもらう。受講を契機に、各自のふるさとの自然環境を新たな視点で見直し、人と自然の共生について考えてほしい。

2. 授業の進め方

対面式を予定しているが、コロナの感染状況により遠隔式（オンデマンド型音声解説方式）に変更する場合もある。

3. 授業計画

1. 群馬の地形	9. 群馬の動物（2）（中・小型哺乳類）
2. 利根川水系	10. 群馬の動物（3）（鳥類）
3. 群馬の気候	11. 群馬の動物（4）（爬虫類）
4. ‘からっ風’	12. 群馬の動物（5）（両生類・魚類）
5. 雷	13. 群馬の地質と土地の生い立ち
6. 群馬の植物（1）（植物区系と植生）	14. 群馬の自然災害
7. 群馬の植物（2）（樹林帯と樹木）	15. 群馬の自然保護
8. 群馬の動物（1）（大型哺乳類）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約1時間）。テレビや新聞等の群馬県の自然についての報道にも注意してもらいたい。遠隔式の場合は、毎回授業の後で理解度を確認するための小テストを出す。次回の授業の初めの正解の発表と解説を見て、各自で見直す（約30分）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第15回（最終回）の授業後に、期末試験を実施する。遠隔式の場合、小テストの解答および期末試験の解答はメールで提出してもらおう。小テストの不正解者には、再提出を指示するメールを送る。

6. 授業における学修の到達目標

群馬県内の自然環境について一通りの知識を持ち、他県の人に紹介ができる程度の力をつけることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（50%）、受講態度（20%）、小テスト（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しないが、地名の確認のため、群馬県地図（何れの出版社のものも可）を用意するとよい。

9. 受講上の留意事項

授業内容をよく理解した上で、試験・テストを受験すること。遠隔式の場合、解答の提出期限は必ず守ってもらいたい。やむを得ない理由で解答提出が遅れる場合は、必ずメールで連絡すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。